

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2371600426
事業所名	グループホームふれんど

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：2） 中学生の職場体験、子供神輿、夏祭りへの参加など地域と積極的な交流に努めている。行きつけの近所の喫茶店に出かけ、利用者が折った千羽鶴を飾っていただくなど良好な関係が築かれている。買い物の機会には、近所のドラッグストア、スーパーなどを積極的に利用している。	評価 ○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：3） いきいき支援センター職員、民生委員、家族などの参加が得られており、地域の情報をもらい交流に活かしている。行事、内部研修、利用者の近況報告等を行い、意見を聞いている。もらった意見には迅速にホーム内で検討し、より良いホームの運営につなげている。	評価 ○
重点項目③	市町村との連携（外部評価項目：4） 生活保護の人の受け入れを通し、定期的な職員の訪問を受けている。役所の職員との日頃からの交流により、様々な情報収集を行い、相談しやすい関係性の構築に努めている。	評価 ○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：6） 利用者との普段の会話から意見、希望を聞き出すようにしており、言いやすい環境、雰囲気作りに配慮している。利用者の意欲を引き出す、選択の機会を多く作る事を大切にしている。家族からは面会時に積極的に情報提供を行い、意見を聞いている。遠方の家族には電話にてこまめに連絡を行っている。	評価 ○
重点項目⑤	その他軽減措置要件	評価
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	○
	○運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。	○
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	○
総合評価		○

1. 外部評価軽減要件

- ① 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。
- ② 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。
- ③ 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。
- ④ 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況（外部評価）が適切であること。

2. 外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	確認事項
2. 事業所と地域とのつきあい	(例示) ① 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ② 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
3. 運営推進会議を活かした取組み	(例示) ① 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 ② 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取組みを行っている。
4. 市町村との連携	(例示) ① 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ② 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	(例示) ① 家族会を定期的（年2回以上）に開催している。 ② 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③ 家族向けのホーム便り等が定期的（年2回以上）に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
総合評価	×	×	○	○	○	○	○				